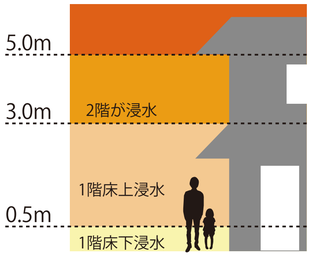
東川 浸水想定区域図(L1)

浸水深の目安

ご自宅の浸水の深さを確認しましょう





このハザードマップについて

- **浸水想定区域図とは、水防法に基づき、国または県が管理する洪水により相当な損害を生ずるおそれのある河川において、氾濫した場合に浸水が想定される区域と深さを表示した地図です。**
- **50年～100年に1回程度発生する大雨(計画規模【L1】)を前提に作成しています。**

想定条件

河川名	確率	前提となる降雨量
東川	5年に1回	杭瀬川流域の1日間総雨量173mm

★このマップは、東川の浸水想定を表した図であり、色が塗られていない地域であっても、他の河川の影響を受ける可能性があります。複数の河川を重ねあわせた「大垣市洪水ハザードマップ」(令和3年3月作成)もご確認ください。
なお、浸水が想定されている区域外であっても、降雨状況によっては浸水する可能性があります。

凡　例

▼浸水深（ランク別）
- 5.0m 以上
- 3.0m 以上 5.0m 未満
- 0.5m 以上 3.0m 未満
- 0.5m 未満

▼避難施設
- 指定拠点避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

避難施設の利用のご注意
- 2階(3m以上浸水する場合は3階)以上が利用できる施設
- 利用できない可能性がある施設
  ※地震時は利用可能

- 大垣市
- 行政所
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- 国道
- 県道
- 地下道(アンダーパス)
- ＪＲ
- その他鉄道
- 鉄道駅
- 高速道路
- IC インターチェンジ
- SIC スマートインターチェンジ
- JCT ジャンクション
- SA サービスエリア

0 1 2 3 4 5 km
(25,000分の1)

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1104